

めぐみ厚生センター センターだより

第 365 号
発行 2018年 5月15日

佐賀市緑小路1-3
社会福祉法人めぐみ厚生センター
めぐみ園 0952(34)7722
どりいむ 0952(34)7727
E-mail s-megumi@basil.ocn.ne.jp
富士学園 0952(63)0107
ウイズ富士 0952(51)0063
ピースハイム 0952(64)2012
E-mail fuji-g@b2.bunbun.ne.jp

発行者 栗林 恵一
印刷所 (株)古川総合印刷

ホームページURL <http://www.megumikousei-center.org/>

四月は入学や進学、就職と、新しい出発の時です。めぐみ厚生センターでも、四月二日に、辞令交付式が行われ、新しい職員の方々が加わられました。開会の礼拝で、「生まれつき目の見えない人に対し、『たれのせいですか』と問う弟子たちに、『神の業がこの人に現れるためである』と語られた」主イエス・キリストの御言葉を共に聞きました(ヨハネ福音書九章三節)。

めぐみ厚生センターで、過ごされている利用者の方々は、重い障がいを負って生まれられた方々です。「なぜ、どうして」という苦悩を抱えて、御家族と共に歩んで来られました。

めぐみ厚生センターは、そのような苦悩の中にある方々と共に、一九五〇年以來、歩み続けています。先人の労苦と「いと小さき者」への深い愛を絶えず思わせられます。「障がい」を負った方々の存在を、人間が説明したり解説したりということは、全く不遜で不当なことで、できないことであり、してはならないことです。

だがそのような中、救い主である神



「わたしがわたしである」ものとなる場

めぐみ厚生センター 監事
日本キリスト教会久留米教会 牧師

枝松 博 展

の御子イエス・キリストは「本人のせいでも、両親のせいでもない。ただ(創造主である父なる)神の御業が現れるためである」と仰せになられて、その人を癒され、見えるようにされたのです。そしてそのようにして見えるようにされたその人は「わたしである」というものに変えられたのです(九節)。

ここで示されることは、聖書の告げる癒し・救いは「その人が『わたしである』というものにされる」ということです。私たちは救いというと、まず、目に見える不具合が取り除かれることだと思えます。またそのことを願います。確かに切なる願いです。しかし、聖書は、「わたしがわたしである」ものとされる所に救いがあると告げるのです。それが救いであるというのです。もとより「わたしがわたしである」ということは、自分ひとりで(自力で)出来ることではなく、命を与えて下さった方(聖書の神)と、同じように命を与えられた人々(隣り人)との交わりの中で生まれ、育まれ、可能とされる命であり、存在なのです。(三つが大



事。卑近な例ですが、三脚のように三つでない立たない。倒れる。) レーナマリアさんという、両手、片足がなく生まれた方は、「聖書の神さまは全能ですから、私を、いわゆる五体満足な体で生まれさせることも出来るようになったはず。でも、私がこのように体で生まれることがこの世界に必要なと思われたから、私はこのように、水泳、料理、編み物、パソコン、車の運転をし、神を讃美する歌を歌いながら命の音色を奏でています。

めぐみ厚生センターで御一緒にいる利用者の方々は、私たちがひとりでは生き得ないもの、支えられ、助け合っ始めて生き得るものであることを、私たちに気付かせ、そのように生き合おうように促すために、貴い生を与えられたひとりひとりではないでしょうか。人間存在の最前線である方々、場であることをいつも思わせられています。

めぐみ園

新年度始まる！

四月二日(月)めぐみ園でも新年度が始まりました。

午後から創作活動室にて森永施設長より新体制の発表があり、利用者、職員の皆さん、職員共々心機一転！

新しい年度の始まりに気持ちを新たにしました。



今年度は5名の新人職員さんがめぐみ園の仲間になりました！

春爛漫！

三月二十日(月)めぐみ園運動場で暖かな春の日差しの中、満開に近付いた桜の下、野



和やかなひととき

点が行われました。また三月下旬から数日に分けて、野公園や小城公園等でお花見！満開の桜の下で、皆さんが選んだお弁当を楽しみました。



小城公園も満開！

♪♪♪
♪♪♪
♪♪♪

イースター！



四月九日(月)イースターのレクリエーションを行いました。支援員による手作りの紙芝居でイースターの話しを聴いた後、皆で卵型の色画用紙にシールを応用

紙いっぱい貼りました。その後はレクリエーション！

カゴから卵型カプセルを落とさないよう慎重に運ぶ方、急いで運ぼうと走る方等々、参加している方も応援している方も楽しい時間！



昼食には美味しいプリンも出て、一日を通してイースターを楽しみました。翌日には、枝松牧師によるイースター礼拝が行われました。

楽しいイースターになりました！



どりいむ

お花見！



三月二十九日どりいむ・地域活動支援センター合同のお花見が行われました。当日は晴天！まずは、



満開の金立公園で満面の笑顔！

スパーにて皆さん思い思いにお弁当を購入。その後、金立公園に移動し、満開の桜を眺めながらの楽しいひと時。



帰りは金立サーブスエリアにてお買い物を楽しみ、その後、願正寺の枝垂桜を鑑賞。桜を満喫した一日となりました！

富士学園

お花見ドライブ

四月二日(月) 例年より少し早い開花を迎えた桜は丁度見頃の時期。ドライブを兼ねたお花見には絶好の行楽日和でした。



青空と桜をバックにハイチーズ!

美しい桜の下でジュースを飲みながら、皆さん大満足の笑顔でした。

皆と過ごす大切な時間……
来年の春もまた来ようね



散策クラブ・芝桜

四月十三日(金) 雲ひとつない晴れ日和。散策クラブにて、富士大和温泉病院の遊歩道にあります、芝桜を目指して散策に行ってきました。

一面に広がる芝桜が綺麗だな～!



到着すると、そこには色鮮やかな芝桜が遊歩道一面に広がっていて、利用者皆様は、綺麗に咲いている芝桜を笑顔で見つめられていました。汗ばむほどの天気でしたが、皆様春の陽気を感じられたようでした。

芝桜をバックにはいチーズ!



ウイズ富士

福島春子様古希祝い

四月十一日(水)に皆様で古希のお祝いをいたしました。記念品は、ご本人が希望されたCDラジカセです。いつまでもお元気で過ごして下さい。



企画食事

四月二十五日(水)に恒例になっている昼食で、今回のテーマは『旬の海鮮づけ丼ご膳』で季節感がありとても美味しかったです。



ピースハイム

新年度引越し

新年度、入居者のホーム移動がありました。多布施ホームへ平健吾様、めぐみホームに末次米彦様が入居されました。皆様と仲良く過ごされています。



お花見

三月三十一日のお昼頃に、お散歩がてら多布施川沿いの満開の桜を見に出かけました。



きれい～♪

新任職員紹介



めぐみ園



生活支援員 板谷 健史

利用者の方が幸せに生活できるように支援していきたいです。



生活支援員 野田 慎吾

利用者の方と楽しい毎日が過ごせるように、頑張ります。



生活支援員 才木 美沙

利用者の方が毎日楽しく送れるような支援を心掛けます。



生活支援員 武藤 真穂

毎日安心して生活を送っていたただけのように支援していきたいです。

聖句

主は人の一歩一歩を定め、御旨にかなう道を備えてくださる。人は倒れても、打ち捨てられるのではない。主がその手をとらえていてくださる。
(詩篇三十七編二十三〜二十四節)



生活支援員 村川 萌香
分らないことだらけですが精一杯笑顔で頑張ります。



調理員 竹松 剛志

利用者さんが笑顔になるような美味しい料理を提供します。



生活支援員 石井 智子

辞令を受けて、これまで以上に粉骨砕身、努めてまいります。



生活支援員 古賀 一郎

利用者様の主体的な行動や気持ちを第一に、求められている役割をしつかり考え、支援に努めてまいります。



生活支援員 松尾さとみ

利用者の方に幸せを感じて頂けるよう、心新たに支援をさせていただきます。



生活支援員 松本 佳千

利用者の方が楽しく笑顔で生活できるように努めてまいります。



生活支援員 山口順一郎

利用者様に好かれ、ご家族の方々に信頼されるような支援を心掛けたいと思います。



調理員 石松 和也

利用者の方にこれまで以上に喜んでいただけるよう頑張ります。



調理員 執行 真紀

利用者の方々に、美味しく喜んで頂ける食事提供が出来るよう努めます。



生活支援員 野田 千秋

利用者の方が、楽しく過ごしていただけるように頑張りたいと思います。



巡回支援員 立石ひろみ

気持ち新たに頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。



巡回支援員 畑瀬 知子

入居者の心に寄り添った支援をしたいと思ひます。



ホーム支援員 北島 貴子

明るい笑顔と元気をモットーに、入居者に安心・安全を支えます。

皆様ありがとうございました
(三・四月分)

めぐみ園へ

●ながせ皮膚科医院様より

タオル多数寄贈

●森永弘太様より

寄付

富士学園へ

●ながせ皮膚科医院様より

タオル多数寄贈



あしがき

風薫る五月。新緑と心地よい風が日々の喧騒を和らげてくれるようです。新生活を始めた方々もひと段落付く頃、しっかりと気持ちをリフレッシュしましょう！

